

平成26年度事業報告に関する件

I 活動方針

本事業年度は、公益社団法人にふさわしい活動（認定法別表23事業）を展開し、幼児・児童生徒の文化や芸術、学術振興に努めるとともに、教職員の研究・研修、職能の向上を図る事業を推進する。そして、教職員の各種活動及び研究大会の支援、助成、講座、セミナーの開催、調査・資料収集、研究開発をはじめ、子どもたちの体験活動や作品展、表彰・コンクール等の公益目的事業の事業区分をふまえながら、本会の定款に定めた目的である「新しい時代にふさわしい教育の目的・理念の高揚に努め、徳島県教育の充実とその振興を図る事業」を積極的に推進していく。

II 会 議

1 総 会

- (1) 期日 平成26年5月24日（土）午前9時から
- (2) 場所 公益社団法人徳島県教育会教育会館大ホール
- (3) 表彰 教育功労者表彰 計239名
- (4) 議事
 - ① 平成25年度事業報告に関する件について
 - ② 平成25年度決算報告並びに監査報告に関する件について
 - ③ 定款の一部変更に関する件について
 - ④ 役員報酬等及び費用に関する規程の一部変更に関する件について
 - ⑤ 役員改選に関する件について

理事及び監事

理事 佐藤 利弘（徳島県教育会事務局長・常勤）理事長
守田 光重（一般・非常勤）
宮本 壽江（一般・非常勤）
蔵本 憲昭（一般・非常勤）
武田恵美子（美馬市立脇町幼稚園長・非常勤）
北岡 晃（阿波市立市場小学校長・非常勤）会長
加藤 浩（石井町立石井中学校長・非常勤）
岩浅 芳行（徳島県立小松島西高等学校長・非常勤）副会長
中川 隆彦（鳴門教育大学附属中学校長・非常勤）
監事 多田 智彦（徳島市国府中学校長・非常勤）
上原 英二（一般・非常勤）

- ⑥ 平成26年度の活動方針・重点目標・事業計画（案）及び研究主題に関する件について
- ⑦ 平成26年度予算（案）に関する件について

記念講演会 「笑いでココロとカラダを整える ～スマロジーのすすめ～」

講師 桂 春蝶 氏

2 役員会

(1) 理事会・運営協議会

開催日	議 事
役員選出理事会 平成26年5月24日(土)	議事 ① 代表理事の選定について 代表理事に 佐藤 利弘 理事が理事全員の賛同を得て、本人もこのことについて承諾し就任した。
第1回理事会・第2回運営協議会 平成26年6月13日(金)	議事 ① 常任委員会について ② 教育会館建替資金・会館修繕積立金について ③ 学力診断考査事業について ④ 会館の貸室事業について
第2回理事会・第3回運営協議会 平成26年10月31日(金)	議事 ① 第66回日本連合教育会研究大会徳島大会について ② 事業報告(中間)について ③ 教育会館の工事について ④ 教育会館貸室の名称変更について ⑤ 副読本・補助教材について ⑥ 互助会貸付事業について
第3回理事会・第4回運営協議会 平成26年2月20日(金)	議事 ① 平成26年度事業報告・業績予測について ② 平成27年度事業計画(案)について ③ 平成27年度予算(案)について ④ 平成27年度助成金について ⑤ 学力診断考査事業について ⑦ 平成27年度学事関係職員録について ⑧ 第67回日本連合教育会研究大会富山大会について
第4回理事会 平成27年度第1回運営協議会 平成26年5月8日(金)	議事 ① 平成26年度事業報告並びに決算報告について ② 監査報告について ③ 平成27年度役員について ④ 第128回定期総会について ⑤ 幼稚園部会の取扱いについて ⑥ 会館貸室料金の変更について

Ⅲ 事業別の状況

1 教育の研究、研修及び学術の振興に寄与する教育支援事業

県教育会の統一テーマに基づき、本県教育の刷新充実と教育実践上の課題解決を図るため、各校種の教育団体への研究、研修支援並びに教職員の職能向上事業への研修・研究助成や教育講演会・講習会等の事業を行った。

(1) 教育協議会

- ① 第1回徳島県教育会教育協議会 7月4日(金)
 - ・ 公益社団法人徳島県教育会教育協議会について
 - ・ 平成26年度教育研究論文、教育体験記録の募集要項について
 - ・ 平成26年度特色ある学校(園)活動支援事業募集要項について
 - ・ 平成27年度研究主題について
 - ・ 日本連合教育会研究大会徳島大会について
- ② 第2回徳島県教育会教育協議会 12月12日(金)
 - ・ 平成26年度特色ある学校(園)活動支援事業応募の審査について
 - ・ 平成27年度特色ある学校(園)活動支援事業の募集要項(案)について
 - ・ 平成27年度徳島県教育会研究主題について
 - ・ 平成27年度教育研究指定校の募集要項(案)について

(2) 第66回日本連合教育会研究大会徳島大会実行委員会

- 第7回 5月12日(月) 第8回 6月24日(火)
第9回 7月29日(火) 第10回 8月29日(金)

(3) 第66回日本連合教育会研究大会徳島大会

- ① 期 日 8月7日(木) 理事会、議長団打合せ、青年教師の会、レセプション
8月8日(金) 開会式、全体会、記念講演、アトラクション、分科会
- ② 場 所 徳島市立文化センター、阿波観光ホテル
徳島グランヴィリオホテル、ザ・グランドパレス
- ③ 参加者 計995名
本県からは、各単位教育会より推薦を受けた599名が参加
- ④ 大会主題 「変化する社会の中で、創造性に富み心豊かで健やかに生きる日本人の育成」
副題 一夢や希望をもち、未来に向かって挑戦する子どもの育成一
- ⑤ 発表者 全10分科会、青年教師の会
- ⑥ 記念講演 「自分の舞台の活かし方」講師 横石 知二 先生
(株式会社いろどり 代表取締役社長)

(4) 日本連合教育会理事会等(会長・理事長出席)

5月16日(金)、6月27日(金)、10月17日(金)、2月14日(金)

(5) 教育研究賞

- ① 教育研究論文の部の応募数は29点で特選2名，入選5名，佳作2名
- ② 教育体験記録の部の応募数は5点で特選1名，入選1名

(6) 特色ある学校（園）活動支援事業

- ① 桑島小学校（鳴門市）
- ② 由岐小学校（海部郡）
- ③ 加茂名中学校（徳島市）
- ④ 小松島中学校（小松島市）
- ⑤ 徳島北高等学校
- ⑥ 小松島西高等学校

(7) 教育文化講演会助成事業

- ① 幼稚園教育研究会
- ② 小学校教育研究会
- ③ 中学校教育研究会
- ④ 徳島市教育会
- ⑤ 鳴門市教育会
- ⑥ 小松島市教育会
- ⑦ 阿南市教育会
- ⑧ 吉野川市教育会
- ⑨ 阿波市教育会
- ⑩ 美馬市教育会
- ⑪ 勝浦郡教育会
- ⑫ 名東郡教育会
- ⑬ 那賀郡教育会
- ⑭ 海部郡教育会
- ⑮ 板野郡教育会
- ⑯ 美馬郡教育会
- ⑰ 三好教育会

(8) 各種教育振興助成事業

- ① 科学教育費（科学作品展，科学経験発表会）
- ② 事務職員研修費（県公立小中学校事務職員研究会，県公立高等学校事務職員協会）
- ③ 社会科研究選賞費（県小学校教育研究会社会科部会，県中学校教育研究会社会部会）
- ④ 生活科作品展費（県小学校教育研究会生活科部会）
- ⑤ 学校栄養職員研究費（県栄養教諭・学校栄養職員研究会）

(9) 専門部会助成事業

- ① 幼稚園部会
- ② 小学校部会
- ③ 中学校部会
- ④ 高等学校部会
- ⑤ 特別支援学校部会

(10) 単位教育会助成事業

- ① 徳島市教育会
- ② 鳴門市教育会
- ③ 小松島市教育会
- ④ 阿南市教育会
- ⑤ 吉野川市教育会
- ⑥ 阿波市教育会
- ⑦ 美馬市教育会
- ⑧ 勝浦郡教育会
- ⑨ 名東郡教育会
- ⑩ 名西郡教育会
- ⑪ 那賀郡教育会
- ⑫ 海部郡教育会
- ⑬ 板野郡教育会
- ⑭ 美馬郡教育会
- ⑮ 三好教育会
- ⑯ 高校教育会

(11) 助成金審査委員会 1月17日（金）

2 幼児・児童生徒の文化や芸術，学術振興に寄与する事業

(1) 第71回科学作品展

10月30日（木）～11月2日（日） 計382点を展示

第1部工夫創作品の出品点数50点のうち特選は12点，第2部研究記録の出品数299点のうち特選は59点，第3部収集・標本類の出品点数33点のうち特選は7点。

(2) 社会科研究選賞展と生活科作品展

10月30日（木）～11月2日（日） 計98点を展示

社会科研究選賞展への出品数は45点で特選は8点，特別賞1点。生活科作品展の出品数は53点。

(3) 科学経験発表会

11月2日（日） 発表校45校 特選20校，入選25校

(4) こども木工教室

7月20日（日） 48名参加

(5) おもしろエネルギー教室

7月25日（金） 43名参加

(6) わくわく算数教室

8月2日（土） 85名参加

(7) こども科学教室

8月3日（日） 75名参加

3 学術文化，教育研究，研修に寄与する施設貸出事業

教育会館の貸出・開放については，専門委員会や理事会の協議を経て，優先的に公益事業に資するよう差別化や特化を図っている。また，教育関係諸団体が主催する研究大会，研究会，講演会，発表会，さらには幼児・児童生徒の展覧会，発表会等への貸出，会館内の教育関係機関等に対してのテナントとしての貸出等も行っている。

また，県・市より指定を受けている避難施設，また，津波における避難場所，まちかど救急ステーションなど，広く県民のために役立つ施設となるよう，災害についての災害についての防災マニュアルの作成や住民との連携を密にした説明会を開催し，今後も会館を安全・安心・快適に利用していただくための施設設備機能の充実・維持管理等に努める。

4 教育・文化の振興，発展に寄与する各種研究・調査・資料収集のための出版事業

(1) 「徳島教育」編集委員会 6月18日（水），2月3日（火）

年2回の編集委員会（委員22名）を経て，隔月に発行する徳島教育は3月で1162号を数え，いわば本県の教育の変遷を表す冊子として定着している。

(2) 副読本「わたしたちの道徳」の発刊

(3) 補助教材の発刊 「こうつうえほん」（幼稚園）「小学生の交通読本」「中学生の交通と安全」「高校生との交通と安全」「わたしたちの健康」

5 「ひと、こと、もの」を考える啓発・キャンペーン事業

- (1) 人権について、広く県民の方に理解を得ることを目的とし、5月24日（土）に講演会を開催した。
- (2) 災害時における防災教育として、防災パネル展を、小・中・高等学校をそれぞれ期間を分け展示し、命の大切さを考える啓発・キャンペーン事業を実施した。
- (3) 県・市より指定を受けている避難施設、また、津波における避難場所、まちかど救急ステーションなど、広く県民のために役立つ施設として、災害についての防災マニュアルの作成や住民との連携を密にしている。

6 効率的運営のための施設貸出事業

教育会館の利用を教育関係機関のみならず、広く一般に貸し出すことによる収益を公益事業の拡大につなげている。

7 教育活動の円滑な推進に寄与する調査出版事業（「学事関係職員録」の発行）

県教育委員会をはじめ教育関係諸団体の方々が行う、あらゆる活動が遅滞なく行われるためには連絡・調整等が必須であると考え。その諸活動に資するためのアイテムとして学事関係職員録はなくてはならないものとなっている。出版発行に当たっては、個人情報等に十分配慮しながら行っており、頒布についても会員および教育関係諸団体に限定している。

8 会員の福利厚生、相互扶助事業並びに教育功労者表彰事業

教職員の資質向上を図るため、県外派遣研修等（シルク・ドウ・ソレイユの鑑賞）をはじめ、各種の補助厚生事業や助成事業を行った。

また、本県教育に功労があると認められる30年以上在籍した教職員、及び教育上の研究、教育実践並びに学術文化の向上等に功績が顕著である者に対し、退職時に教育功労者として表彰した。

(1) 教育功労者表彰（239名）

(2) 福利厚生事業（464名）

① 海外研修（台湾）	23名	② 県外研修（スキー・スノーボード）	26名
③ シルクドウソレイユ観劇	41名	④ ランチ&エステ	73名
⑤ レクリエーションゴルフ	47名	⑥ テニススクール	27名
⑦ 囲碁将棋大会	81名	⑧ 教職員バドミントン大会	79名
⑨ 徳島ヴォルティスチケット配布	50名	⑩ 税に関するセミナー	17名

(3) 互助会活動

① 弔慰金	2名	② 配偶者死亡慰謝金	5名
③ 家族死亡慰謝金	99名	④ 実父母死亡慰謝金	110名
⑤ 住宅罹災者慰謝金	0名	⑥ 不慮災厄者慰謝金	0名
⑦ 長期療養者慰謝金	71名	⑧ 結婚祝金	98名
⑨ 子の結婚祝金	7名	⑩ 出産祝金	208名
⑪ 返付金	319名	⑫ 会員一般貸付	15名
⑬ 事務助成金	16各单位教育会		